

夏休みの作文に悩んだら（作文を書くヒント）

1 書く材料（題材）を探そう

○これまでの生活で、自分が成長したり、考え方が変わったりした出来事は？

変わる前の自分

自分を変えた出来事

変わった後の自分

いつ

どこで

だれと

何をどうした

特に印象に残った言葉や出来事

2 文章の構成を考えよう

○起承転結を意識して、大まかな内容と書く順序を考えよう。

起	夏休みに知覧の特攻祈念館を訪れた。そこでは……
承	5月に修学旅行で長崎を訪れ、戦争と平和についてもっと考える必要を感じた私は、この夏休みを使って……
転	私の祖父は戦争中に……今の平和な世の中について「 」といつもいっている。
結	戦争のない世界を作るために、私ができることは……

3 書き出しを考えよう

○読み手の興味を引くような書き出しを考えてみよう。

(例)「読ませる書き出し」大作戦 (『[よのなか]教科書 国語 心に届く日本語』参照)

① 擬音作戦 「ドッカーン!」「プルルル」「ガオー」

② 会話で始める 「あらっ。」坂本昭子がふりむいて言った。

③鳥瞰図作戦（遠くの風景，大きな風景から，細かい，手元の風景へ）

「ずっと遠く、水平線のすぐのあたりに、白い軽い魂をふわふわと積みあげた形の雲が、限りなく並んでいる。」

④ 結論を冒頭に持っていく 「この夏、ぼくは一回りも二回りも成長した。」

⑤ 体言止め作戦 「あたり一面に響き渡る爆音。あざやかな光。ついにロケットが打ち上がった。」

⑥ 心情や気持ちから書き出す 「もうぐずぐずしてられないと思った。」

⑦期目、日時で始める 「二〇一五年、八月四日。この日は私にとって……」